

引きこもり状態の家族への支援をテーマに事例検討をおこないました。

これまでも「えんがない人をどう支えるか」をテーマに意見交換を行ってきた「暮らしの相談支援者ネットワーク」が7月10日開かれました。

今回のテーマは患者・利用者さん自身ではなく、そのご家族です。「親の介護に専念して引きこもり状態の息子さん。家計の収入は親の年金のみ。」「利用者である母親が他界しサービスが終了、その後の家族の様子も気になるが係わりが無くなっている」こんな状況で気になるご家族が多くいらっしゃいます。支援者側も気にはなっているけれど利用者でも無いし、本人も関りを望まないし…縁遠くなっていく。ひきこもり状態のご家族をせめて行政や地域へ繋げることができれば安心なのですが…。そんな模擬事例を元に支援方法を話しました。

高齢者は介護保険等の様々なサービスがありますが、家族は年齢によっても利用できる制度が変わってくる等の支援の難しさもわかってきました。最後に困窮者自立支援制度や無料低額診療事業についての制度説明が行われ、支援を必要とする人が地域から孤立しないで生活できるよう支援者同士で連携していくことを確認しました。



認知症予防教室1回目がスタート

6月24日(月)認知症予防教室が友の会会館で開催され、全員で17名が参加（登録者7名）しました。

浅倉講師(介護予防運動指導員)のかなりハードな筋トレを無理せず90分間行い、その後、クールダウンしつつ、角田さん(おりづる会)に教わり折り紙をしました。

認知症予防教室は、軽度認知症(MCI)の方を中心に、認知症予防や相談・支援活動を行い、将来的には認知症になっても安心して住み続けられる街づくりを目指しています。今後は、現在行なわれている「うしおだチャレンジ」(横浜市介護予防・日常生活支援総合事業)に合流して、取り組みを継続していきます。

認知症予防教室コーディネーター

理学療法士 雨宮芳雄



メモリーカフェ



認知症にまつわる悩み、専門スタッフに相談できます

・汐田総合病院 会場：ラウンジぴゅあ(病院2階)

8月お休み 9月12日(木) 14:00-16:00

・うしおだ診療所 会場：友の会汐田・向井町支部事務所

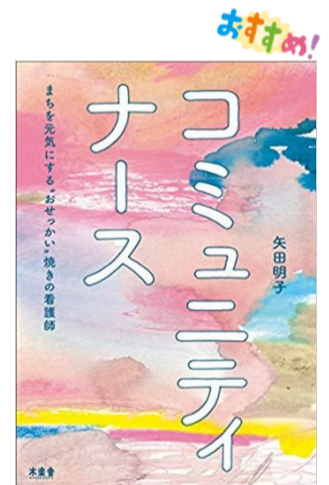
8月お休み 9月12日(木) 13:30-15:30



コミュニティナース

「コミュニティナースとは、在り方であり、コンセプト。生きかた、とも言えるからもしれません」こんな言葉と生き生きとしたナースたちの写真集でこの本は始まります。あらためて、地域包括ケア時代における医療専門職の在り方を示唆してくれる1冊です。

コミュニティソーシャルワーカー、コミュニティセラピスト、コミュニティパーソン(事務?) いろいろな可能性がありそうですね。



木楽舎

矢田朋子著



夏のおもいで

暑い!暑い! 毎日暑いです。私の小学生時代の夏休みは、毎日早朝から野球の練習に明け暮れていました。近所の高校のグラウンドの一番良い場所を取るため、薄暗いうちに家をでていました。大会は8月の真夏の日中。7回制で1日2試合。6年生の時はチームの大黒柱でしたが、1回戦コールド勝ち。2回戦惜敗。何故か写真の類いは残っていません。暑い夏休みの思い出です。(T.O)



うしおだ総合ケアセンター

We aim to build a non-discriminatory Integrated Community Care System that supports all